

## 地域を支えるオーガニック製品

株式会社グッドバンカー  
リサーチチーム

モロッコは、オリーブやテンサイ、オレンジなどが豊富に収穫され、南部にはサハラ砂漠が広がる、北アフリカ北西部に位置する国です。

南西部では、この地域固有の低木「アルガン」が自生しており、この種から採れるオイルが同国の名産品として人気を集めています。そのアルガンオイルの生産現場を見学してきました。

モロッコの約 3 割を占めるベルベル人は、食用油や薬としてアルガンオイルを愛用してきましたが、ビタミン E や必須脂肪酸が多く含まれ、にきびや乾癬（かんせん）などの治療や、しわ予防に効果があるといわれていることから、世界の化粧品市場で注目されるようになりました。アルガンオイルは、硬い種子を石で割り、ペースト状にすり潰してから搾油するという、非常に手間のかかる工程を経て製造されます。かつては家内制手工業で生産されてきましたが、消費量の拡大に伴い、多くの生産組合がつくられるようになりました。ベルベル人の女性が家の外で働くことは、それまであまりなかったことですが、このアルガンオイルの生産は、すべて女性によって行われており、女性の自立を可能にしています。加えて、かつて森林破壊で絶滅の危機に直面していたアルガンが、砂漠化を食い止める役割があることが認められるようになり、ユネスコの生物圏保護区に指定され、毎年、新たなアルガンが植樹されるようになったといえます。

さらに、今回見学した ASSAÏSS OUARGAN TICHKA 社が製造している製品については、ヨーロッパで規定されているオーガニックの基準を満たしているとの認証を、フランスの国際有機認定機関「ECOCERT（エコサート）」から取得するなど、徹底して自然原料と有機栽培にこだわっていました。このような認証を受けることで、どんなに需要が増えたとしても、手作業による搾油手法が維持され、良質のアルガンオイルの生産が継続されることが可能となるでしょう。そしてそれは、ひいてはこの地方の女性の就労を支援し、環境にも配慮した持続可能なコミュニティの形成を促すことにもつながります。

そして、こうしたオーガニック化粧品を製造・販売する企業も、それが環境や人権に配慮した製品であるという観点から、SRI の投資対象となり得ます。こうした投資行動が、世界の女性たちの美容と健康をサポートするだけでなく、生産地域の女性の自立にも貢献することになるのです。